

# 口絵から見る静岡県の産業・経済

口絵には、昭和25年に刊行が始まった『県政概要』から、1960年代以降の本県の産業・経済の歩みを伝えるモノクロ写真を転載しました。



1960年頃の茶畑 [昭和35年版]  
清水港から輸出される貿易茶が話題を呼び、生産意欲が高まったこと  
でお茶の生産量は増大しました。



昭和36年の年間貿易総額が前年より100億  
円伸長して605億円余を記録した清水港  
[昭和37年版]



焼津漁港では昭和36年に年間水揚げ高114  
億円の新高記録を達成 [昭和37年版]



建設中の東名高速道路(由比海岸付近) [昭和41年版]  
東海道地域の経済的基盤の強化を目的に昭和40年4月  
に清水インターチェンジ付近で起工式が行われました。



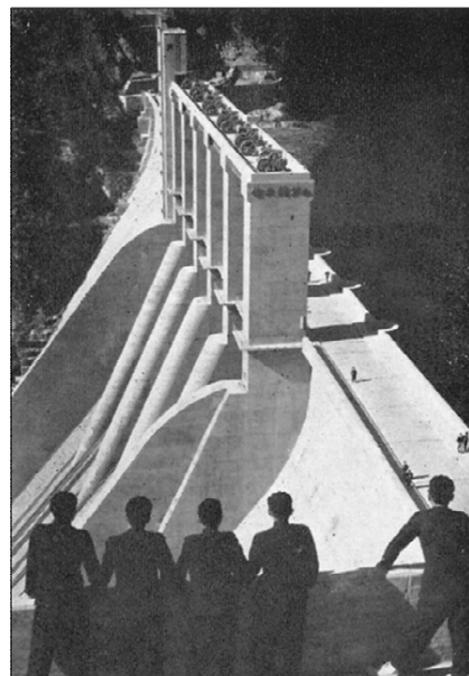
新丹那トンネルの建設進む [昭和36年版]  
東海道新幹線の工事は、最大の難関とされる新丹那ト  
ンネルの着工を皮切りに昭和34年にはじまりました。



安全性と美しさを誇る七滝高架橋 [昭和56年版]  
昭和53年に発生した伊豆大島近海地震の復旧工事とし  
て昭和55年に完成しました。高低差45メートルの2層  
ループ橋は新たな伊豆の観光資源となりました。



県下初の町管理となる大井川港の工事に着手 [昭和38年版]  
大井川港は、大井川河口の砂利運搬の港として昭和39年に開港しました。



佐久間ダム of 景観 [昭和36年版]  
佐久間ダムは、工期3年4か月、事業費  
340億円で昭和31年8月に完工しまし  
た。



工事が進む氷窪ダム [昭和42年版]  
昭和41年11月に着工した氷窪ダムは、  
最大出力5万キロワット。昭和44年6月  
に完工しました。